

平成18年11月27日

阪神電気鉄道株式会社

「大阪四季劇場」の“第二弾”が『オペラ座の怪人』に決定しました

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）が2004年11月に開業したハービスENT7階にある「大阪四季劇場」は、2005年1月から劇団四季による『マンマ・ミーア！』を公演していますが、2007年2月12日で千秋楽を迎え、次に続く第二弾として、世界中で高い人気を誇るミュージカル『オペラ座の怪人』を上演することが決定しました。

『オペラ座の怪人』は、2007年5月3日(祝・木)に開幕し、ロングラン公演で行われる予定です。

■公演に関するお問合せ先

劇団四季 関西公演本部 大阪オフィス TEL 06-4796-6600

以上

大阪四季劇場 “第二弾” は世界最強ミュージカル

『オペラ座の怪人』に決定！

～2007年5月3日（祝・木）開幕～

劇団四季の関西における新拠点として、2005年1月に誕生した“大阪四季劇場”。柿落とし公演『マンマ・ミーア！』に続く第二弾として、2007年5月3日より、いまなお世界中で高い人気を誇るミュージカル『オペラ座の怪人』を上演することを決定致しました。

本作は、『キャッツ』、『ジーザス・クライスト＝スーパースター』など、数々の大ヒットミュージカルを生み出してきたアンドリュー・ロイド＝ウェバーの最高傑作。流れるように優美な“ザ・ミュージック・オブ・ザ・ナイト”や“オール・アイ・アスク・オブ・ユー”、全音域を自由に操る“ドンファン”の勝利”など、繊細かつ重厚なメロディーが、上演のたびに高い評価を集めています。

初演は1986年にロンドンで迎え、これまでに24カ国、119都市で上演。また、1988年から上演のブロードウェイ公演では、2006年1月9日に通算7,486回目の公演を迎え、ブロードウェイでの最長ロングラン記録を更新する歴史的快挙を成し遂げました。

日本でも、1988年の東京での初演以来、各地で公演を重ね、2006年9月10日には通算公演回数が4,000回を超え、この作品に対する評価を更に高めています。

1995年の堂島・MBS劇場での上演から12年ぶりの大阪公演。再演を望む声が非常に多く、世界中の人々の心を掴んで離さない珠玉のミュージカル『オペラ座の怪人』に、どうぞご期待ください。

大阪四季劇場『オペラ座の怪人』公演概要

- ◇公演名 ミュージカル『オペラ座の怪人』
- ◇公演期間 2007年5月3日（祝・木）開幕（ロングラン公演）
- ◇会場 大阪四季劇場（ハービス エント7階／JR大阪駅徒歩5分）
- ◇料金 S席 11,550円／A席 9,450円／B席 6,300円／C席 3,150円（税込）
※ウィークデイマチネ公演
S席 10,500円／A席 8,400円／B席 5,250円／C席 2,100円（税込）
- ◇一般発売 2007年2月25日（日）発売開始【「四季の会」会員先行予約2月10日（土）】
- ◇主催 劇団四季／阪神電気鉄道
- ◇問合せ 劇団四季 関西公演本部 大阪オフィス 06-4796-6600

ストーリー

19世紀半ばのパリ・オペラ座。華麗な舞台の裏側では“オペラ座の怪人”の仕業とされる、謎めいた事件が続発していた。

コーラスガールのクリスティーヌは、プリマドンナのカルロッタの代役として舞台に立ち、見事に歌って喝采を浴びる。一夜にして名声を手に入れたクリスティーヌは偶然幼なじみのラウルと再開する。喜びもつかの間、楽屋の鏡の中から怪人が現れて、彼女を地底深く連れ去ってしまう。オペラ座の地下には神秘的な湖が広がり、怪人はクリスティーヌを隠れ家へと導く。怪人は彼女をプリマドンナに仕立て、自分の歌を歌わせたいと願っているのだ。劇場支配人たちは、カルロッタの機嫌を損ねることを恐れ「クリスティーヌを主役に」という怪人の要求を突っぱねてしまう。

オペラ初日、激怒した怪人が宣戦布告、恐ろしい事件が次々と起こる。大混乱を避けたラウルとクリスティーヌは、オペラ座の屋上で愛を確かめ合う。その光景を怪人が深い悲しみのまなざしで見つめていた。やがて舞台にもどったクリスティーヌの頭上で、不気味な笑いと共に巨大なシャンデリアが点滅し激しく揺れた。怒りを爆発させた怪人は――